

図書館のたのしみ

問 図書館 ☎22-0002

vol.152 よりみち

「平成最後の」なんてフレーズを最近あちこちでよく耳にします。でもなんだか、最後、最後と聞き続けると追い込まれているような気持ちになりませんか。

のんびりするのも大事なこと。

今回は「よりみち」ということでゆったりとした気分になれそうな本を集めてみました。

新生活や新学期を迎える前で忙しい人も、そうでない人も、ちょっとよりみちしてみませんか。

今月のおすすめ本

『スローライフの停留所』

▶ 内野 安彦 著
▶ 郵研社 刊

スローライフをテーマに本屋や図書館のことを語る。仕事のヒントや有意義な時間の使い方に役立つ一冊。



『ゆっくり急ぐ』

▶ 外山 滋比古 著
▶ 毎日新聞社 刊

ローマ皇帝アウグストゥスの名句「ゆっくり急げ」をタイトルに、生き方の教えにユーモアやアイデアをたっぷり添えたエッセイ集。



『みちくさしようよ!』

▶ はたこうしろう・奥山 英治 作
▶ ほるぷ出版 刊

学校からの帰り道、おにいちゃんとみちくさしてみよう! よりみちの楽しみが詰め込まれた、仲良し兄弟を描いた絵本。



おはなし会 (絵本などの読み聞かせ)

日時 毎週水曜日・土曜日 10時30分～11時
対象 水曜日:0～2歳、土曜日:幼児～小学生

FMラジオで市の情報を発信中

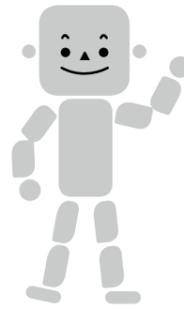
▷ FMラジオ: 毎週木曜日 12:00～12:30

77.1MHz (<http://www.datefm.jp/yunorazi/>)

▷ おおさきエフエム放送: 83.5MHz (<http://oosaki-fm.or.jp/>)

月～金曜日 ①7:30～7:35 ②12:00～12:05 ③17:50～17:55

土・日曜日 ①5:10～5:20 ②9:00～9:10 ③12:00～12:10



ミテ・キイテ・カンジテ
ウゴキダス

オオサキ プレイガイド

市民農園利用者募集

問 農林振興課農業経営係 ☎23-7090

市民農園を利用して、野菜などを育ててみませんか。

■チェリーファーム(古川地域)

場所 古川桜ノ目字鹿島地内
貸出区画 10区画程度(1区画約33㎡)
貸出期間 4月～12月

料金 1区画 5,000円(年間)

対象 大崎市民

付帯設備 給水設備、貸出用農機具(すべて無料)、トイレ、休憩所、駐車場など

申込 チェリーファーム管理組合まで電話(☎28-3343)で申し込み(随時受け付け)

■上古川ふれあい農園(古川地域)

場所 古川字上古川屋敷13
貸出区画 15区画程度(1区画約33㎡)
貸出期間 4月～12月

料金 1区画 5,000円(年間)

対象 大崎市民

付帯設備 給水設備、貸出用農機具(すべて無料)、トイレ、休憩所、区画ごとの駐車場など

申込 上古川ふれあい農園管理組合まで電話(☎22-3547)で申し込み(随時受け付け)

■真山ふるさと交流農園(岩出山地域)

場所 岩出山字上真山下外道13-2(真山地区公民館隣接地)

貸出区画 45区画(1区画約50㎡)

※1人2区画まで利用可能

貸出期間 4月～平成32年2月

料金 1区画 5,000円(年間)

対象 市内外問わず日常管理ができる人

付帯設備 給水設備、貸出用農機具(一部有料)、トイレ、区画ごとの駐車場など

申込 真山地区公民館まで電話(☎77-2567)で申し込み(随時受け付け)

おおさき起業・創業シンポジウム ～働く、暮らす、生きる～

問 産業商工課商工振興担当 ☎23-7091

地域に根差した創業を支援するため、社会的課題を解決するソーシャルビジネスで活躍する講師を迎え、大崎での創業について考えます。

日時 3月14日(木) 13時～16時

場所 図書館(来楽里ホール)

定員 先着100人

申込 電話またはQRコードから申し込み ▲QRコード

※託児希望(無料)の人は3月7日(木)まで申し込みしてください。

■第1部 基調講演

講師 一般社団法人はまのね代表理事 亀山貴一 氏

■第2部 亀山さんと市内現役起業家によるトークセッション

内容 創業時の苦労話や事業の志について

登壇者 株式会社ラフデザイン代表取締役 山内泰弘 氏、さとのわ代表 鈴木美樹 氏、大沼ファーム 青柳さおり 氏

■第3部 市内新規起業家の事業PR

■コワーキングスペースalata3周年記念パネル展示



▶ 講師 亀山貴一 氏 ～プロフィール～

昭和57年生まれ。石巻市蛤浜で育ち、宮城県水産高校に勤務する。東日本大震災によって壊滅的な被害を受けた蛤浜を再生するため、平成24年3月に蛤浜再生プロジェクトを立ち上げる。

平成25年3月に高校を退職し、平成28年3月まで宮城県おしか地区復興応援隊として活動。

平成26年4月には、一般社団法人はまのねを立ち上げ、牡鹿半島の持続可能な集落づくりを目的として、蛤浜を拠点にcafeはまぐり堂、マリナクティピティ、水産業・林業・狩猟の6次産業化などに取り組んでいる。



大崎ごつつあん祭

～宮城野部屋直伝なる子ちゃんご鍋と大崎の地酒で楽しもう～

問 観光交流課観光担当 ☎23-7097

米どころ、酒どころとして古くから発酵文化が根付き、伝統を守り受け継がれてきた大崎耕土。

市の新たな郷土食として名産にすべく、普及と提供店の拡大を推進する宮城野部屋直伝の「なる子ちゃんご鍋」と「大崎の地酒」を味わってみませんか。



▲なる子ちゃんご鍋イメージ

日時 3月26日(火) 12時～14時30分

場所 グランド平成(古川駅前大通)

内容 なる子ちゃんご鍋の提供、抽選会

※酒類は、会場内で別売りとなります。

定員 300人

料金 2,000円(なる子ちゃんご鍋3杯分、おにぎり1パック、抽選券)

申込 一般社団法人みやぎ大崎観光公社でチケット販売

第2回おおさき発酵学講座

「大崎の醤油と大豆、小麦」

問 観光交流課観光担当 ☎23-7097 ㊚23-7578

大崎地域は古くから農業が盛んで、米や大豆などの農産物に恵まれてきたことから、みそ・しょうゆ・清酒・納豆などの発酵産業が発達し、わたしたちの食生活を豊かにしてきました。

世界農業遺産に認定された地域の農業と食文化を考えるきっかけにしてみませんか。



日時 3月16日(土) 14時～16時

場所 図書館(来楽里ホール)

■第1部 講演

演題 「食品製造業と農産物生産者との密接な関係づくり」

講師 鎌田醤油株式会社 専務取締役 鎌田雅敬 氏

■第2部 対談

内容 発酵食品製造者(鎌田雅敬氏)と大豆・小麦生産者の対談

定員 先着40人

申込 電話またはファクスで申し込み

